

学校教育目標	「強く 正しく 共に生きる 下末吉の子」 ○自ら学び、自ら考え、問題解決する子どもを育てます。【知】 ○自分や人を大切に作る心の豊かな子どもを育てます。【徳】 ○生命を尊び、心身ともに健康な子どもを育てます。【体】 ○地域や人との豊かなかわり合いを通して、共に生きる子どもを育てます。【公】 ○様々な社会の変化に、柔軟に対応できる子どもを育てます。【開】					
	創立 74 周年	学校長 千葉 寛興	副校長 中西 三香	2 学期制	一般学級: 6	個別支援学級: 5
学校概要	児童生徒数: 179 人 主な関係校: 末吉中学校 駒岡小学校 末吉小学校 上末吉小学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	末吉中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <問題発見・解決能力> <情報活用能力>	末吉中学校 上末吉小学校 末吉小学校 駒岡小学校 下末吉小学校	学校・家庭・地域の中で育つ、夢と希望に向かって努力できる子ども ○児童、生徒指導の情報の共有化のための定期的な情報交換 ○「末吉中学校区スタンダード」の運用・検討 ○児童・生徒及び教職員の交流活動並びに地域との交流の活性化 ○義務教育9年間の学びの連続性を軸とした授業参観・授業公開

中期取組目標	「下小74周年 未来・仲間・地域に繋ごう下小のバトン！」～見つめる→繋げる→深める～ ○小規模校ならではの本校のよさや強みを生かし、子ども一人ひとりの思いを引き出しながら、「学力向上」や「中一ギャップ解消」などの課題解決に取り組みます。 ○強くなった地域との繋がりを生かした学習活動を展開し、さらにまちを愛する心を育てます。 ○子どもどうしの豊かな関わりのおかげで、一人ひとりの様子や変化を捉え、データも活用しながら、学びの充実に生かします。 ○「共有・参画・らしさを発揮」をベースに、働きがいのある職場づくりを進めます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 確かな学力	学年・ブロックで児童の実態を継続的に共有し、チームで授業改善を進めます。基礎基本の確実な定着を図るため、学び方の選択の幅を広げ、児童が主体的に学びを構築できる授業づくりを推進します。
担当 重点研・チーム学年経営	
<b>徳</b> 豊かな心	行事をたてわり班で取り組むことにより、異学年交流を活発にし関わりを広げていきます。ペア学年を組み替えて活動を行い、中学年の責任感を養っていきます。発表や学習での異学年交流を行い、互いに認め合う場を増やしていきます。
担当 特活・道徳	
<b>体</b> 健やかな体	継続的に生活習慣や食育の指導を行うことで、子どもたちが自らの体や健康的な食生活についての理解を深めていきます。学校保健委員会を通して、子どもたちが主体的に健康について考え、行動できるようにしていきます。
担当 体育・保健	
<b>公</b> 特色づくり	子どもたちのやりたい、やってみたいという言葉に耳を傾け、実現できるように教職員が支援していきます。子どもたちの夢がかなう楽しい学校を目指して、教職員と地域が連携して子どもたちの取り組みを支えています。
担当 特別活動	
<b>いじめへの対応</b>	いじめ防止対策委員会の他に、児童に関する会議を全体で行い、情報共有を図っていきます。いじめ防止対策委員会を活用し、いじめ未然防止と解決の見通しについて、検討を充実させます。アンケートをはじめとした子どもの見取りについての分析を活用して、いじめの未然防止に努めます。
担当 いじめ防止対策委員会	
<b>人材育成・組織運営(働き方)</b>	各人材育成ステージの職員が日常的に実践を見合うことで、職員全体で人材育成できる体制を充実させます。ブロック学年での教材研究や助言、指導などの活性化と、教科担当を交換するなど柔軟な指導体制を取り入れ、教職員の強みを生かした教育を推進します。
担当 チーム学年経営・メンターチーム	
<b>特別支援教育(国際教室)</b>	児童の実態に合わせて、外国につながる保護者への情報提供や支援体制を充実させます。ステップアップルームでの個別指導を強化し、ユニバーサルデザインの学級づくりを推進します。支援が必要な児童の情報共有体制を整え、子どもへの支援の質を向上させていきます。
担当 特別支援教育委員会・国際教室	
<b>児童指導</b>	チーム担任制を活用して、低中高ブロック内で日常的に情報共有し、組織的にかつ迅速に児童の支援と指導にあたるようにします。また、職員が児童全員の顔と名前を把握することで、職員と児童の関係性を深め、スムーズに情報共有できるようにします。
担当 指導指導部会	
<b>読書活動推進</b>	学校司書と連携した学級貸出や環境整備を継続し、子どもが本に触れやすい環境づくりを進めます。学習に必要な図書準備や展示を活用し、図書館を活用した学びを充実させます。図書館利用や読書活動の時期を学年間で見直し、情報を共有しながら、計画的な活用を図っていきます。
担当 学校図書	
担当	